

連絡先:大浜ようすけ後援会 枚方市伊加賀栄町8-1 TEL:090-3054-5132 発行日:令和5年1月 発行:大阪維新の会

枚方市政対策委員 大浜ようすけさんを

ご紹介します。

プロフィール

- ■1988年11月18日生(34歳)
- ■京都府八幡市出身
- ■関西大学政策創造学部卒業
- ■NPO法人ドットジェイビーにて議員インターンシップを経験
- ■東証プライム(旧東証一部)上場の総合人材サービス企業入社 (株式会社クイック)
- ■第6期維新政治塾卒
- ■大阪維新の会市政対策委員
- ■妻(共働き)、長男、長女の4人家族







大浜ようすけさんの想い

() 🖸 🖸

私は枚方市のお隣、八幡の市出身で幼少期から学 生時代を地元で過ごしました。子どものころの思 い出の大部分にこの枚方市がありました。 祖父母が私に会いに来てくれたときは、くずはモー ルの松坂屋のおもちゃ売り場でわがままを言って いたことも良い思い出です。

くらわんか花火大会は、小中学生の私たちにとって は何よりも大きなイベントでした。あの頃の枚方市 は子どもながらにキラキラしたまちだったのです。

子育てのために第二の故郷として選んだ枚方市。 仕事をしながらの育児も大変ではありますが、地 域の皆さまにも恵まれ本当に素晴らしいまちだと 思う一方で、市税収入の落ち込み、将来的な財政 問題、慢性的な待機児童問題(地域格差)など将 来不安を感じる方も多いのではないでしょうか。

「ひらかたの未来のために」 枚方市の市政対策委員として活動を してまいります。

将来の 担い手である 子どもが ワクワクできる まちづくりを。

次世代にツケを 残さないため、 行財政改革の 継続を。

三気のううでしょう 3つのこと

誰もが 活躍できる 社会の 後押しを。

ひらかたの未来のために 次にしていたの 次にしていため、 次にしていため、 なるここのでと!

将来の担い手である子どもが ワクワクできるまちづくりを。

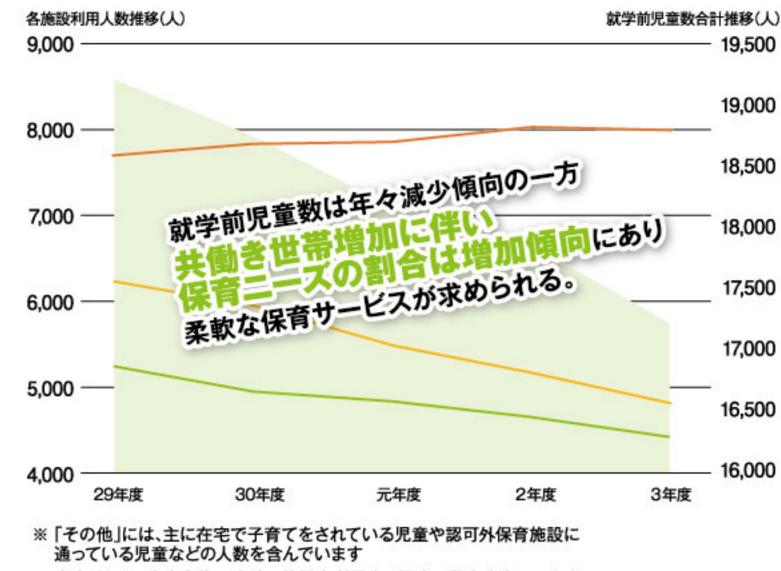
変化する保育ニーズに対応できる行政の仕組みを 考える必要があります。今年度は4年ぶりに待機児 童が発生、隠れ待機児童は増加傾向。

我が家もそうなのですが兄弟姉妹別々の保育園への 送迎は家庭の大きな負担です。そうした負担を軽減 するために【拠点駅と保育園を結びつける行 政発の送迎サービス】導入を検討すべきです。

昨今起きる保育·教育の場での痛ましい事故や事 件を防ぐためにも現場の実態を把握し働く側も預け る側も安心できる環境づくりの実現、必要な補助を 含めて保育士等の待遇改善等を進めるべきです。 また経済的格差をなくすために【教育バウチャー券】 導入を推進する必要があります。

まずは子育て世帯、共働き世帯がより活躍できる 環境整備を急ぐべきです。 就学前児童の教育·保育施設の利用状況等の推移 (各年度5月1日現在)

■合計 ─ 幼稚園、認定こども園(1号) ─ 保育所(園)、認定こども園(2・3号)、小規模保育施設 ─ その他



※ 本表はには、市内在住で市外の施設を利用する児童の数を含んでいます

参考:https://www.city.hirakata.osaka.jp/cmsfiles/contents/0000046/46551/koukiplan.pdf

次世代にツケを残さないため、 行財政改革の継続を。

直近の黒字で、財政状況が悪化はしておりませんが 将来世代には不安を残します。枚方市は市税収入は 過去数年横ばいですが、一方で高齢化の影響で社会 保障関係費が増加していくことや、公共施設の建て替え需要など必要経費がかかる見込みが高い状況です。

次世代にツケを残さないためにも継続した行財政改革を行って いくべきです。

枚方市の将来人口推計

誰もが活躍できる社会の後押しを。

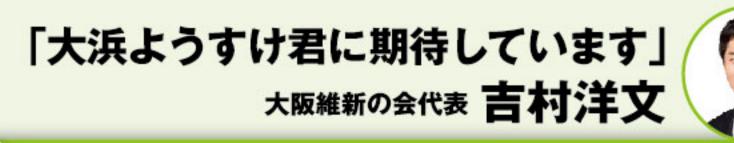
枚方市の高齢化率は28%を超えており、老後不安を 抱える方が増えるとともに、それだけ多くの経験をされ てきた人材がいらっしゃるのではないかと思います。 2025年問題(団塊世代の皆様が75歳に到達する) などに対応するとともに民間の力を結びつけ、より地 域活性化を進めるべきだと考えるべきです。

具体例:空き家(空き家率は12.4%に上ります) の再利用/病児保育サービス、シッター事業(潜在保 育士)/スポーツ振興、クラブ活動など。



資料:平成28年から令和2年までの住民基本台帳人口(各年10月1日 現在)各歳データをもとに コートホート変化率法で推計 ※上記の図表は令和2年のみ実績値

引用:https://www.city.hirakata.osaka.jp/kourei/cmsfiles/contents/0000002/2153/dai8ki-zenpen.pdf



ご連絡、ご質問は以下までお願いします。

大浜ようすけ後援会 III 090-3054-5132 III yohama881118@gmail.com